

(お知らせ)

福島第一原子力発電所3号機における 漏えいの疑いのある燃料の調査結果について

平成19年10月19日
東京電力株式会社
福島第一原子力発電所

当所3号機（沸騰水型、定格出力78万4千キロワット）は、平成19年8月31日から開始した定期検査において、9月13日、漏えいの疑いのある燃料集合体*を特定いたしました。その後、10月13日、当該燃料を目視点検した結果、有意な損傷はなかったことから、今回の漏えいは偶発的な要因により発生したものと推定いたしました。

当該燃料は、今定期検査における燃料交換時に健全なものに取り替えるとともに、使用済燃料として扱い、再使用しないことといたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以 上

* 漏えいの疑いのある燃料集合体

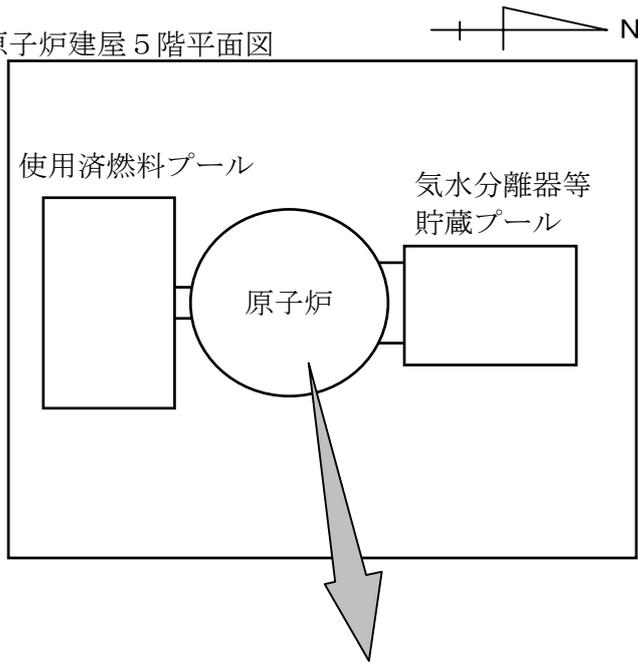
3号機は定格熱出力一定運転中の平成19年8月1日、燃料集合体からの漏えいの徴候が確認されたため、同日より関連パラメータの監視強化を実施しました。また、8月10日よりプラントの出力を約45万キロワットまで降下させ、漏えいの疑いのある燃料集合体の範囲を特定する作業を行い、8月13日、範囲を特定したことから、その付近の制御棒4本を全挿入とした後、プラントの出力上昇を開始しました。

その後、同号機は、監視強化を行いながら運転を継続し、8月31日から開始した定期検査において、漏えいの疑いのある燃料集合体を特定するための検査を行うこととしました。

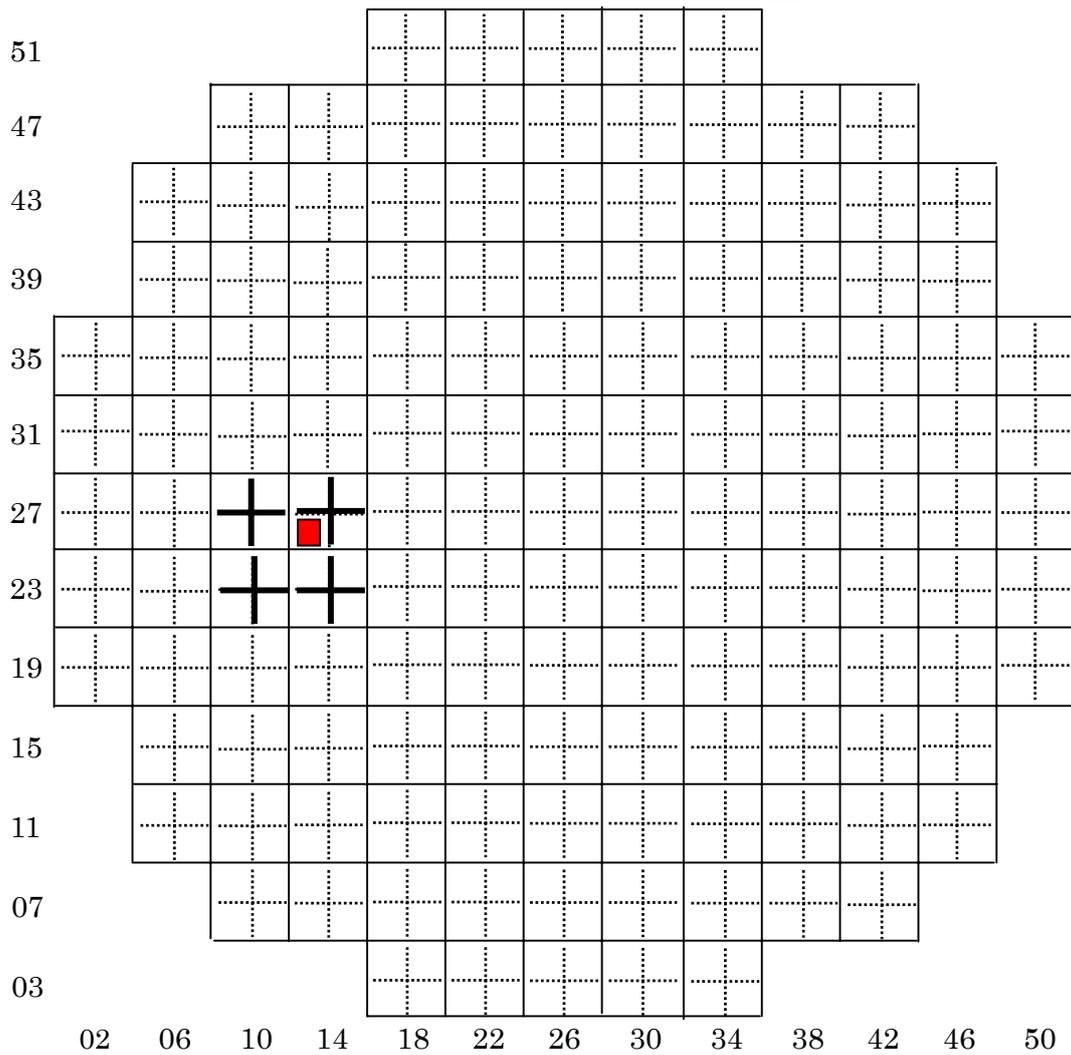
み)

([平成19年8月2日](#)、[10日](#)、[14日](#)、[30日](#)お知らせ済み)

原子炉建屋5階平面図



+ : 漏えいの疑いがある燃料集合体の範囲を特定後、全挿入した制御棒
 ■ : 漏えいが確認された燃料集合体



3号機漏えい燃料集合体の装荷位置